



腹腔鏡下幽門側胃切除術(LADG)パス 入院診療計画書

| | | | |
|--------|----------|---|---|
| 患者ID | 主治医 | 病名 | 説明日 |
| 患者氏名 | (性別) 担当医 | 管理栄養士 | 症状 <input type="checkbox"/> 事前検査による異常所見 |
| 生年月日: | (年齢) 看護師 | 特別な栄養管理の必要性 | <input type="checkbox"/> 患部の自覚症状 |
| 病棟(病室) | 薬剤師 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | (黒色便・貧血・通過障害・) |

| 月日 | 入院日・前日 | 手術前 |
|------------|---|---|
| 患者目標 | 不安なく手術を受けることができる | |
| 治療処置注射(内服) | 現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 手術前日に、剃毛(腹部の毛を剃る)とお臍をきれいにします 手術前日の14時と21時に下剤を内服します 事前に点滴をします | 朝の薬は 時 分 に()を 少量の水で内服します 朝、浣腸をします 午前中から点滴をします |
| 検査 |  | |
| 食事 | 入院後、食事を摂取することはできません 手術前まで、水分(水・お茶のみ)は決められた時間と量で摂取することができます | 食事を摂取することはできません |
| 排泄 |  | |
| 清潔 | 剃毛後にシャワー浴ができます(必要な場合はお手伝いをします) | |
| 活動(安静度) | 制限はありませんが、病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください | 病室内でお過ごしください 手術室へ歩いて移動します(状態によっては車椅子やベッドで移動します) |
| 説明(指導) | 入院生活や手術について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 手術室看護師の訪問があります 麻酔科医師から麻酔について説明があります 手術の際必要な物品を説明します 手術前までに用意してください | 手術開始予定時刻は 時 分です 手術着に着替え、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる際はスタッフに声をかけてください) |
| その他 | | |

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

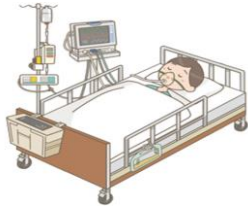

(本人・家族) ()

腹腔鏡下幽門側胃切除術(LADG)パス 入院診療計画書

患者氏名

(性別)

患者ID

| 月日 | 手術後 | 術後1日目 |
|------------------------|--|--|
| | / | / |
| 患者目標 | 手術後合併症を起こさない | |
| 治療 処置 注射 (内服) | 自動血圧計、心電図モニターを装着します 酸素を開始し、足にはフットポンプを装着します (装着時間は状態によって変わります) 点滴をした状態で帰室します(続けて点滴をします) 鼻とお腹に管が入っています 背中に痛み止めの細い管が入っている場合があります (点滴の場合もあります) | 持続で点滴をします 回診時、ガーゼの汚染が多い時は交換を行います (退院まで必要時行います) 鼻に入っている管を抜きます(状態により前後することがあります) 痛み止めの点滴をします(術後2日目まで) |
| 検査 | | 血液検査とレントゲン撮影をします |
| 食事 | 食事・水分を摂取することはできません | 食事・水分を摂取することはできません |
| 排泄 | 尿の管が入っています 排便はベッド上で便器を使用します | 尿の管が入っています 歩けるようになれば、排便はトイレを使用します |
| 清潔 | 翌朝まで手術着のままを観察していきます 消灯前にベッド上で、うがいと顔拭きを行います | 朝ベッド上で、うがいと顔拭きを行います タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします) |
| 活動 (安静度) | 翌朝の回診まではベッド上で安静となります  | 回診後からは病棟内でお過ごしください (初回歩行時は看護師が付き添いをします) 初回歩行後は、ふらつきなどがなければ1人で歩けます 歩行後、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます (状態によって変更があります)  |
| 説明 (指導) | 手術後に医師からご家族へ説明があります 痛みが強い時や、気持ちが悪い時など、異常を感じた時はすぐにお知らせください | 手術後初めてガスや便が出た時は、看護師へ伝えてください |
| その他 | 手術後から翌日まで、病棟HCUに移ります | 毎日回診があり、医師が手術部位の状態を確認します |

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。




注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

腹腔鏡下幽門側胃切除術(LADG)パス 入院診療計画書

患者氏名

(性別)

患者ID

| 月日 | 術後2・3日目 | 術後4日目 | 術後5日目 | 術後6日目 | 術後7日目 | 術後8・9日目 |
|------------------------|---|--------------------------|--|--|---|---------|
| 患者目標 | 手術後合併症を起こさない | | | | | |
| 治療 処置 注射 (内服) | 術後5日目まで持続で点滴をします  | | 寝る前に持続点滴が終了します | 術後9日目まで日中点滴をします  | | |
| 検査 | 血液検査とレントゲン撮影をします | | 胃透視検査があります (状態により前後することがあります) | | | |
| 食事 | 食事・水分を摂取することはできません  | | 回診後、医師の指示で水分(水・お茶のみ)を摂取することができます(胃腸の動きが悪い場合は、延期となる場合があります) | 昼から流動食が開始となります 胃の負担を軽減するため以後6回食となります | 昼から3分粥食 6回食となります  | |
| 排泄 | 尿の管が入っています | 医師の指示により尿の管を抜き、トイレを使用します | | 制限はありません | | |
| 清潔 | タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします) | | | | | |
| 活動 (安静度) | 病棟内でお過ごしください | | 制限はありません 手術後合併症予防のため、積極的に歩きましょう | | | |
| 説明 (指導) | 手術後初めてガスや便が出た時は、看護師へ伝えてください | | 看護師から食事の食べ方について説明があります | 食事は無理せず、一口ずつゆっくり30分程度かけて摂取してください | | |
| その他 | 痛みが強い時や、気持ちが悪い時など、異常を感じた時はすぐにお知らせください | | | | | |

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。




注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

腹腔鏡下幽門側胃切除術(LADG)パス 入院診療計画書

SUY118

患者氏名 (性別) 患者ID

| 月日 | 術後10・11日目 | 術後12・13日目 | 術後14・15日目 | 術後16日目 | 退院日 |
|------------------------|---|----------------------|---|--------------------|--|
| | / . / | / . / | / . / | / | / |
| 患者目標 | 手術後合併症を起こさない | | 日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる | | |
| 治療 処置 注射 (内服) | 食事が予定表通り進まない場合は、点滴が続くことがあります | | | | 退院時に処方がある場合は、薬剤師よりお渡しします(不在の場合には看護師からお渡しする場合もあります) |
| 検査 | 検査がある場合は前日にお知らせします | | | | ネームバンドを外します 体温計を回収します |
| 食事 | 昼から5分粥食 6回食 となります | 昼から7分粥食 6回食 となります | 昼から全粥食 6回食と なります | 昼から常食 6回食と なります | 退院後の過ごし方、次回外来について説明をします 次回の外来予約票と診察券をお渡しします |
| 排泄 | 制限はありません | | | | 会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) |
| 清潔 | 医師の許可があればシャワー浴ができます(手術部位の状態によります) (必要な場合はお手伝いをします) | | | | 会計の説明を聞いてからの退院となります (状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます) |
| 活動 (安静度) | 制限はありません 手術後合併症予防のため、積極的に歩きましょう | | | |  |
| 説明 (指導) | 退院へ向けて栄養士から栄養食事指導があります(日には前後します) ご家族の方にも同席していただきます | |  | | |
| その他 | 痛みが強い時や、気持ちが悪い時など、異常を感じた時はすぐにお知らせください 食事は無理せず、一口ずつゆっくり30分程度かけて摂取してください | | | |  |

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。